



ビブリオバトルに挑戦!



12月13日に全校一斉にビブリオバトルを実施しました。事前にPTA・地域のボランティア・先生・生徒から代表1名ずつの4名でビブリオバトルを行い、録画しました。その映像を視聴したあと、実際にビブリオバトルに挑戦です!



紹介用メモで事前の準備

1、2年生は授業時間を使って紹介メモの作成をしました。どうしたら本の面白さが伝わるか...考えながら書いていました。3年生は、今回は朝読の時間のみで準備。3年生は何度もビブリオバトルをしたことがあるので、メモなしアドリブで挑戦する人も!

事前録画のビブリオバトル

ちいき かただいひょう さかもと けんいち
地域の方代表・坂本 健一さん

だいひょう ふくもと きょうこ
PTA代表・福本 京子さん

せんせいだいひょう まつうら はるかせんせい
先生代表・松浦 春香先生

せいとだいひょう ねんせいとしょいん かわはら ゆづき
生徒代表・3年生図書委員 河原 優月さん



による事前録画を行いました。



事前録画で紹介された4冊の本は、大津中図書館にあります。

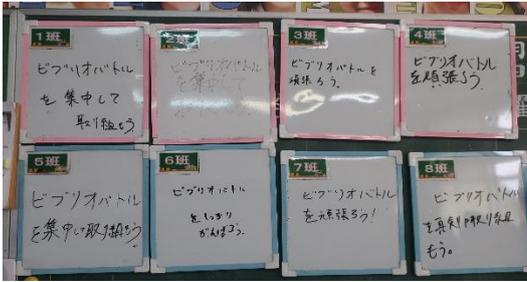
- ・『「オードリー・タン」の誕生』石崎洋司、講談社
- ・『塩の街』有川浩、角川書店
- ・『へそまがり昔話』ロアルド・ダール、評論社
- ・『お金のいらぬ国』長島龍人、『地球村』出版

さて、チャンプ本に選ばれたのは...?



いざ、実践!

配信をしていた視聴覚室まで各教室の盛り上がる声が聞こえてきました。事前に書いたメモの内容を話し終えても、持ち時間の3分間を使い切り自分の好きな本の魅力を語る熱い姿が見られました。聞く人も身を乗り出したりうなずいたりするなど、とても良い雰囲気でした。



↑あるクラスの今日の目標は全部
ビブリオバトルに関することでした！
気合い充分！

★ 各クラスのチャンプ本は図書館のグーグルクラスルームで紹介します。見てね！ ★

終わったあと「自分の好きな本を紹介できて良かった！」「普段読まない本のジャンルを知れて良い機会だった」という声が聞かれました。また、先生方からは「学年によって紹介する本の内容が違って成長を感じられた」という話もありました。また次の機会に向けて、色々な本を読んでみてくださいね。

目指せ！シューイチ図書館賞

大津中図書館では、年度末に、1年間で50回以上借りた人に「シューイチ図書館賞」の賞状を渡しています。50回以上というのは、毎週1冊、夏休みや冬休み前に5冊借りたら達成できます。「たくさん借りているから」ではなく「図書館をたくさん利用してくれたから」図書館からありがたい気持ちをこめて表彰します。

現在すでに50回を達成している人数、40回以上借りている人の人数を紹介합니다。年度末まであと2～3ヶ月、ぜひシューイチ図書館賞を目指して図書館に来てくださいね。

シューイチ図書館・中間発表(12/16時点)

	1年生	2年生	3年生
50回以上	9人	11人	4人
40回以上	12人	7人	11人

冬休み前の特別貸出
実施中！
1人5冊まで
借りられます

「あとぜき」は英語で何と言う？



『きょうから使おう 英語で熊本弁』武田修幸 (熊本日日新聞社)

元高校の英語の先生が熊本日新聞で連載した人気コーナーを書籍化！

熊本弁で英語を学べる。むしろ熊本弁が分かるかな…？

「あいたしもうた！=あつ、しまった！」は「oh,damn it!」

「なんとんつくれん=何てつまらない」は「What a trivial」

などなど。民謡「おてもやん」や熊本の民話の英訳もあります。冬休みの英語の勉強のおともにぜひ…！？ ※著者の武田修幸さんより寄贈